



「働く」世代のために▶連携する農業振興

くらしの立つ農業地域づくり























今回のテーマは、「働く」世代のために~くらしの立つ農業地域づくり~についてお伝えします。

現状と課題

農業の安定経営

- ◆ほ場整備などの農業基盤整備や機械化による農産物の生産体制の強化等、農業の 振興が推進されています。
- ◆遊休農地や原野化農地の解消が十分ではありません。
- ◆優良な肉用牛の生産に向けて、徹底した個体管理、畜産施設の老朽化への対応、 獣医不足解消などに取り組む必要があります。

農家支援

- ◆農家数は年々減少傾向にあり、少子高齢化に伴う担い手不足が懸念されています。
- ◆新規就農者(若手農家)の初期経営の安定化・健全化を図るため、経済的支援 や適切な農地の管理指導など、担い手の確保及び育成に取り組んでいます。

環境保全

- ◆赤土流出防止対策を行い、島の豊かな自然資源の保全に取り組む必要があります。
- ◆化学肥料の適正使用及び低減化、家畜排せつ物、集落排水の適正処理を行い、環 境負荷の低減や水質保全に取り組む必要があります。
- ◆農地は、久米島の豊かな田園風景を特徴づけていますが、一部の農地で堆肥袋や 粗大ごみ、廃車の投棄が見られ、農地景観を阻害している状況があります。

施策の展開

効率的な生産環境づくり

- ◆農業基盤の整備及び維持管理(長寿命化を含む)を継続的に実施し、生産性の 向上と農家の経営安定化を図ります。
- ◆海洋深層水や大型機械、IoT (Internet of Things)、5G、ドローンの活用など、 先進的な農業技術の展開と持続可能な生産環境づくりを推進します。
- ◆付加価値の高い農作物の導入、生産量の拡大に向け、関係機関と連携した栽培 講習会等の開催を図ります。
- ◆地域資源を活用した循環型農業の構築や野菜の地産地消を促進します。
- ◆農地の集積・集約化、農地協定など様々な対策を講じ、遊休農地及び原野化農 地の解消を推進します。

競争力の高い畜産業の推進

- ◆くめじま牛の販路拡大に努めるとともに、徹底した品質・個体の管理、適切な 施設の維持管理・機能強化を推進します。
- ◆子牛の品質及び価格の向上を図るため、優良繁殖雌牛の導入に係る支援を引き 続き行います。

農業経営者の育成

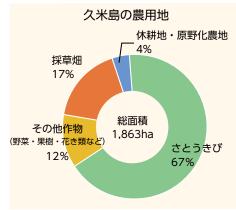
- ◆農業者に対する支援体制の確立、また、集落支援員制度を活用し、地産地消推 進事業を自立運営させるための体制構築を図ります。
- ◆農業従事者向けの研修会・講習会への参加促進や機械化への支援など、効率的 かつ持続可能な農業生産体制づくりを推進します。

環境保全型農業の促進

- ◆農家や関係機関と連携し、赤土流出防止及び環境保全を推進します。
- ◆田園風景を保全し、景観阻害要因の適切な清掃、撤去を促進します。

さとうきび生産量と農家数 924 910 851 852 835 786 760 745 734 生産量(万トン) ── 農家数(人) 424/25 425/26 426/27 427/28 H29/30 428/29

資料:沖縄県糖業農産課 「さとうきび及び甘しょ糖生産実績



資料: 久米島農業振興地域整備計画書(平成31年3月)

目指そう指標

基準値(平成30年) 32.2億円 農業産出額 目標値(令和7年) 39億円

後期基本計画の全体版は久米島町ホームページに掲載しています。 右のQRコードか、「久米島町総合計画」で検索し、ぜひご覧ください♬ ▶



Q 検索

